

# 回 覧

令和元年(平成31年)度 学術部発 25-2 号

(一社)岐阜県臨床検査技師会  
会 長 浅野 敦 <公印略>  
学術部 森 さゆり  
臨床微生物部門長 後藤 雪乃

## 令和元年度 岐臨技研修会のご案内

<臨床微生物部門研修会>

日 時 : 2019年 11月 16日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 : [大垣市民病院](#) 1病棟3階会議室

内 容 :

14:00~14:45 臨床検査士(微生物)試験報告会

~実技試験を中心に~

講師 高山赤十字病院 萩原 健司先生

14:45~15:00 休憩

15:00~16:00 微生物検査担当臨床検査技師が

知っておくべきウイルス感染症

講師 JA愛知厚生連江南厚生病院 舟橋 恵二先生

16:00~16:30 質疑応答・意見交換

参加申し込み : 事前申し込みはありません。  
当日会場へ直接お越しください。

駐車場 : 病院駐車場をご利用下さい。駐車券をお持ちください。

参加費 : 参加者は、技師会員は(岐臨技会員、県外会員いずれも)300円、  
非会員は2,000円を徴収し領収書を発行します。

この研修会は日臨技生涯教育制度に事前登録したもので、研修会参加者には専門教科(20点)として認定されます。研修会参加者は会員カードをご持参下さい。

問い合わせ先 岐阜県総合医療センター臨床検査科 後藤雪乃(214794)  
TEL 058-246-1111(内線 5112)

## **＊ ＊ 外部講師における講演依頼の目的 ＊ ＊**

今回のテーマは「ウイルス感染症」です。

私たち微生物検査技師は、多くの場合、検出目的対象を「細菌」とし日々培養検査を実施しています。しかし、実際には有意な菌が得られない場合も少なくないと思います。そんな時、「この患者さんを苦しめている原因は『細菌』ではないのでは…」と考えることはどれくらいあるのでしょうか？

今回は、JA 愛知厚生連江南厚生病院 舟橋恵二先生に、日々培養検査と向かい合うなかで、忘れてはいけない「ウイルス感染症」についてご講義頂きます。先生はマイコプラズマや百日咳菌の LAMP 法検査についても多く発表されており、ウイルス感染症だけでなく培養困難菌による感染症の可能性も念頭において検査することの重要性と、そこを疑うために必要な情報や知識について熱く講義して頂きます。検体だけを見て検査を進めるのではなく、患者を想い、必要に応じて臨床へ培養検査以外の検査について提案や相談ができるような、interactive な微生物検査技師を目指しましょう。